

新生徒会執行部が発足

本日付で新生徒会執行部が発足することになった。極めて高い信任率を持って選出された石井会長を中心に意欲を持ったメンバーが集結した。全校挙げての協力体制の構築を望む。前生徒会執行部は、「月間目標の表彰」「無駄な遅刻ゼロ運動」「朝の挨拶運動」「交流体育祭の新しい姿」など、様々な取り組みに挑戦してくれた。学校の方針のもと、それに基づいた取り組みを実行してくれたことは、組織として大切なことだ。川村会長をはじめとする前生徒会執行部のメンバーに心から感謝する。それぞれが目指す成長と同様に、他校との比較ではなく、自校の過去からの成長を目指して一歩踏み出そう。

7月10日の投票日までカウントダウン！目指せ！！投票率日本一の高校！！

18歳の3年生諸君、投票の予定は？ 昨年は、投票率100%に届かなかった。一人ひとりの少しの努力で「**日本一**」と名乗れる。期日前投票でも、投票日当日でも、選択肢は豊富だ。Let's vote.

沖縄の歴史に目を向けてみよう

「米軍は45年3月末、空襲や海上の軍艦からの砲撃につづき、慶良間（けらま）諸島に上陸。4月1日には沖縄本島中部の西海岸に上陸した。このころから約3カ月にわたる戦いを一般に、沖縄戦と呼んでいる。<中略>米国側は1万2520人。日本側はその15倍、18万8136人が亡くなったとみられている。<中略>日本にある米軍専用の基地の7割が沖縄に集中している。<中略>不発弾が爆発する。遺骨も墓におさめられない。米軍基地もたくさんある。『まだ戦は終わっていない』という人が多い理由はこうしたことにある。」(朝日新聞社 <https://news.yahoo.co.jp/articles/c9b84f2e8ec7371e1418a2892a71c9bbfea141ff>)

2年生は、11月に沖縄に修学旅行に行く予定だ。本土にはない白い砂、青い海と青い空、独自の伝統文化など、これまで経験したことのない新たな感動が待っている。ただ、今ある沖縄には、古くは琉球王国としての中国・江戸幕府との関係、琉球藩・沖縄県としての江戸幕府・明治政府との関係、占領地としてのアメリカとの関係など、歴史の荒波に翻弄されてきた苦難の道程がある。それらを知ったうえで、訪れることに意味がある。沖縄本島の約15%の面積を米軍基地関係の土地が占める。基地には大型爆撃機・オスプレイ・戦闘機・ヘリコプターが駐機されている。沖縄が日本に復帰して55年にもなるのに…。

6月23日沖縄慰霊の日に読まれた「こわいをして、へいわがわかった」 沖縄市立山内小学校2年徳元穂菜さんの作文の一部を紹介する。家族で美術館に行ったとき、展示されている絵を見て、「(前略)こわいよ/かなしいよ/かわいそうだよ/せんそうのはんたいはなに？/へいわ？/へいわってなに？きゅうにこわくなって/おかあさんにくっついた/あたたかくてほっとした/これがへいわなのかな おねえちゃんとけんかした/おかあさんは、二人の話を聞いてくれた/そして仲なおり/これがへいわなのかなせんそうがこわいから/へいわをつかみたい/ずっとポケットにいれてもっておくぜったいおとさないように/なくさないように/わすれないように/こわいをして、へいわがわかった」ウクライナ戦争も含めて、多くの犠牲の上に成り立つ今の日本の平和の尊さを噛みしめてほしい。

We keep on trying. 挨拶日本一の高校・遅刻ゼロの高校を目指して 文責：姫路別所高等学校長 篠原 歩